

## まえがき

令和5年中の本道の交通事故発生状況は、

発生件数 9,082件 (前年比 +625件)  
死者数 131人 (前年比 +16人)  
負傷者数 10,601人 (前年比 +816人) でした。

死者は前年より16人多い131人となり、全国ワースト4位に(ワースト1位の大阪とは17人差)。

### 死亡事故の特徴

- 事故類型別では、人対車両事故での死者数が45人と最も多い(前年比+13)。
- 地形別・道路形状別では、非市街地の単路その他で55人(前年比+6)と多く、次いで市街地の単路その他での事故で死者が多く27人(前年比+7)。
- 発生時間別では、10時～12時(前年比+3)、16時～18時(前年比+4)がそれぞれ19人で最も多い。
- 第一当事者の年齢層別では、65歳以上の高齢者が37人(前年比-2)が最も多く、全体の約3割を占めている。
- 第一当事者(第一当事者に自転車を含む)の違反別では、前方不注意が60人(前年比+25)と最も多く、次いで最高速度、その他安全運転義務がそれぞれ12人となっている。
- 死者全体の4割余りを占める58人(前年比-5)が65歳以上の高齢者で、そのうち歩行中が29人、自動車乗車中(二輪を除く)が22人となっている。
- 自動車乗車中(二輪を除く)の死者63人中、21人(33.3%)がシートベルト非着用で、そのうち15人(71.4%)は、シートベルトを着用していれば助かった可能性が高いと思われる。

交通事故の発生実態を的確に把握し、より効果的な交通事故防止対策を推進するうえで、この小冊子が役立つことを願っています。

## も く じ

1	都道府県別交通事故死者数	1	12	地形別・道路形状別事故発生状況	16
2	交通事故発生状況の年別推移	2	13	第一当事者の車種別事故発生状況	17
3	月別・年別交通事故死者数	3	14	第一当事者の職業別事故発生状況	18
4	死亡事故の特徴(全国対比)	4	15	第一当事者の違反別事故発生状況	19
5	交通事故死者にかかわる都道府県別ワースト順位	5	16	第一当事者の年齢層別事故発生状況	20
6	地区交通安全協会別(警察署別)人身事故発生状況	8	17	25歳未満のドライバーの事故発生状況	21
7	市町村別人身事故発生状況	9	18	25～64歳のドライバーの事故発生状況	22
8	状態別死者・傷者の状況	12	19	65歳以上のドライバーの事故発生状況	23
9	類型別事故発生状況	13	20	歩行者・自転車利用者の交通事故死傷者の状況	24
10	月別事故発生状況	14	21	二輪車(原付を含む)運転中の事故発生状況	27
11	時間別事故発生状況	14	22	交通死亡事故とシートベルト着用状況	28
	道路別事故発生状況	15		令和6年における交通安全運動の推進方針(概要)	